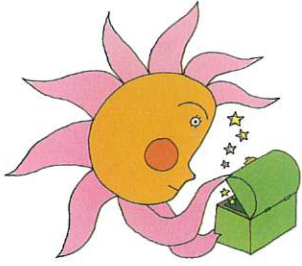


©Wada Makoto
上『ぼくは王さま』(文・寺村輝夫)表紙 1967 理論社
多摩美術大学アートアーカイヴセンター蔵
左『ことばのこぼこ』表紙 1995 瑞雲舎(1981初版 すばる書房)
下『マザー・グース 1』(訳・谷川俊太郎)表紙 1984 講談社



2022
7/2(土)
- 8/28(日)

新潟県立万代島美術館

Saturday, 2 July - Sunday, 28 August, 2022
The Niigata Bandaijima Art Museum

和田誠展 WADA Makoto

開館時間=10:00-18:00(観覧券販売は17:30まで)
休館日=7月11日[月]、7月25日[月]、8月8日[月]、8月22日[月]
観覧料=当日券 一般1400[1200]円
大学・高校生1100[900]円、中学生以下無料
・[]内は有料20名様以上の団体料金です。
・障害者手帳をお持ちの方は無料です。受付で手帳をご提示ください。

前売券=一般のみ1100円 販売期間 4月23日[土]-7月1日[金]
[販売所]セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ
(JTBレジャーから入り、コンビニ4社共通番号0259684を入力し、選択してください)、
インフォメーションセンターえん(メディアシップ1階)、県内プレイガイドなど
※NIC新潟日報販売店でも取り寄せできます。

主催:新潟県立万代島美術館、新潟日报社、NST新潟総合テレビ、和田誠展新潟実行委員会
特別協力:和田誠事務所、多摩美術大学、多摩美術大学アートアーカイヴセンター
企画協力:ブルーシープ、888ブックス
後援:新潟市、新潟市教育委員会、NHK新潟放送局、NCV(株)ニューメディア、FM新潟77.5
協力:新潟県立美術館友の会

新潟県立万代島美術館
〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内 万代島ビル5階
Tel. 025-290-6655 <https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>



「児童書の
イラストレーション」も、
そのひとつ

和田誠展

WADA Makoto



https://wadamakototen.jp
 Instagram: @wadamakoto_world
 Twitter: @wadamakototen

和田誠(1936-2019)はイラストレーター、グラフィックデザイナーとして広く知られています。そのほかにも装丁家や映画監督、エッセイスト、作曲家、アニメーション作家、アートディレクターなどさまざまな顔を持ち、その創作の広がりとはとまるところを知りません。本展は、和田誠の膨大で多岐にわたる仕事の全貌に迫る初めての展覧会です。和田誠を知るうえで欠かせないトピックを軸に、83年の生涯で制作した多彩な作品を紹介します。きっとこれまで知らなかった和田誠の新たな一面に出会えることでしょう。



和田誠 撮影:吉田宏子



A



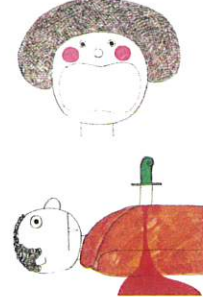
B



C



D



E



F



G



H



I



J



K



L



M



N

DUG

O

BIRD

P

A.「夜のマルグリット」ポスター/1957 B.「ハイライト」パッケージ版下/1960 C.「新宿日活名画座」ポスター/1959 D.「草月ミュージック・イン」第18回ポスター/1962 草月アートセンター E.「MURDER」アニメーション/1964 F.「映画・JAZZ & POPS」ポスター/1995 かつしかシンフォニーホール G.『あめだまをたべたライオン』絵本(文・今江祥智)/1976 フレーベル館 H.『ことばのことば』絵本/1995 瑞雲舎(1981初版 すばる書房) I.「パブロ・ピカソ」雑誌表紙(似顔絵)/1971 J.「ねことヴァイオリン」会報誌表紙/1979 K.「快盗ルビイ」映画ポスター/1988 L.『亀倉雄策の直言飛行』(著・亀倉雄策)より/1991 六耀社 M.『PIANIC PIANISM』ジャケット/1977 日本コロムビア N.『週刊文春』雑誌表紙/2017 O.「ダグ」ロゴ/1968 P.「BIRD」ロゴ(新発田市・ジャズ喫茶)/1967 A B E G I Jは多摩美術大学アートアーカイヴセンター蔵

好きなことを好きなだけ。和田誠をめぐる30のトピック。

1. 未来を予感させる子どもの頃の絵や映画日記「和田誠になるまで」
2. 「ハイライト」をデザイン「ライトパブリシティの時代」
3. 独特の色彩と大胆な構成で映画ファンを夢中にさせた「新宿日活名画座」
4. 文化的交流が後の仕事にもつながった「草月アートセンター」の仕事
5. 作りたいものは自分で作る。最初の絵本は「私家版絵本」
6. 大胆な発想でのびのびと「谷川俊太郎との仕事」
7. グラフィカルでアイデア満載、画法もバラエティに富んだ「絵本」
8. 楽しくやさしく「児童書のイラストレーション」
9. 回文、しりとり、数え歌。ことばあそびの魅力「ことばのことば」
10. 挿絵、訳詞も手がけたライフワーク「マザー・ゲースの世界」
11. 「みんなのうた」第一回目は和田誠の「アニメーション」
12. 少ない要素で特徴をつかむ職人芸「似顔絵」
13. 音楽、映画、ショービズ、青年期を綴る「エッセイ」
14. 一流の映画ファンは一流の「映画監督」
15. 手がけた書籍は2000冊以上「装丁」
16. 装丁に見る「和田文字」
17. 31センチ角の舞台「LPジャケット」
18. 趣味の域を超えるあたたかなメロディ「作曲」
19. 音楽、劇場、映画、広告など幅広く「ポスター」
20. 革新的雑誌のアートディレクション「話の特集」
21. 真面目に遊ぶ「パロディ」
22. クスッと笑えるユーモアの「ひとコマ漫画」
23. シンプルでぬくもりのある「ロゴ・マーク」
24. 長く続いたシリーズ「ロングランの仕事」
25. 描いた表紙は約2000点、40年続いた「週刊文春」
26. お気に入りのモチーフ「猫」
27. 愛情豊かに「家族との仕事」
28. 絵ができるまで「ただいま制作中」
29. 初めての本は1960年「著書200冊」
30. 83年間の膨大な仕事・交友・出来事を視覚的にたどる「ビジュアル年表」

● 次回の展覧会 庵野秀明展 ● 新潟県立近代美術館(長岡市)の展覧会 三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA
 9月23日[金・祝]-2023年1月9日[月・祝] 7月16日[土]-9月25日[日] Tel.0258-28-4111

NIIGATAアートリンク | 県内の4美術館(新潟県立近代美術館、新潟県立万代島美術館、新潟市美術館、新潟市新津美術館)では、今年度、親子で楽しめる展覧会が目白押し! 詳細は各館HPほか「NIIGATAアートリンク2022」展覧会スケジュールチラシでご確認ください。

※展示室の床は靴音が響きやすいため、柔らかい、あるいは平らな靴底の履物をお勧めいたします。※マスクの着用にご協力をお願いいたします。
 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催内容に変更が生じる場合があります。最新の情報は当館ウェブサイト等でご確認ください。



[交通のご案内]

- 新潟駅からタクシー約8分 / 徒歩約25分 / バス約15分(万代口バスターミナルより「佐渡汽船線」(3番線)に乗車し「朱鷺メッセ」下車) ● 自動車=高速道路 北陸道(新潟西I.C.) / 磐越道(新潟中央I.C.) / 日東道(新潟亀田I.C.)から一般道へ。新潟バイパス、亀田バイパスを紫竹山I.C.で降りて、粟ノ木バイパスを新潟西港方面へ。● 新潟空港からタクシーで約20分 ● 駐車場=万代島駐車場(A-E駐車場 ※C駐車場は思いやり駐車場)1時間まで無料(1時間経過後、30分ごとに100円)・お問い合わせ Tel.025-246-8400 / 万代島ビル駐車場(1F、M2F)20分ごとに100円・お問い合わせ Tel.025-249-1044

新潟県立万代島美術館
 〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内 万代島ビル5階
 Tel. 025-290-6655 https://banbi.pref.niigata.lg.jp/
 Twitter, Instagram: @niigata_banbi